

## 第1回県市協調未来創造検討会議議事概要

### <開催要領>

- 1 日 時 令和2年10月22日(木) 10:00~11:00
- 2 場 所 JRホテルクレメント徳島
- 3 出席委員 飯泉嘉門会長、内藤佐和子副会長  
浅香寿穂委員、生駒元委員、岸田侑委員、木下梓委員、児嶋輝美委員、  
坂口敏司委員、坂田千代子委員、佐藤勉委員、鈴江祥宏委員、田口太郎委員、  
田村典子委員、田村禎通委員、富永純子委員、長瀬大委員、花柳淳吾委員、  
原田吾朗委員、檜千尋委員、藤原奈穂委員、松重和美委員、松永勉委員、  
松村史朗委員、三木千佳子委員、御手洗遥委員、峯尚徳委員、矢田博嗣委員、  
吉本光宏委員、吉森章夫委員、代理主席：中村秀美氏(寺内カツコ委員)

### <会議次第>

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 会長、副会長挨拶
  - (2) 現状の共有
  - (3) 今後の検討の方向性
  - (4) 当面の対応
  - (5) その他
- 3 閉会

### <配付資料>

資料 次第

資料 県市協調未来創造検討会議委員一覧

資料 配席図

資料 県市協調未来創造検討会議設置要綱

資料1 これまでの徳島市新ホール整備にかかる計画等

資料1-①(仮称)音楽・芸術ホール整備計画

資料1-②徳島市新ホール建設候補地選定についての意見書

資料1-③徳島市新ホール整備基本計画

資料2 これまでの新ホール整備計画等にかかる住民意見のまとめ

資料3 青少年センターの現状について

資料4 今後の検討の方向性について

資料4参考 位置図

資料5 徳島県内の主なホール施設一覧

資料6 各都道府県における最大規模の公立ホール施設一覧

## <議事概要>

(事務局)

議事(2)、(3)について、資料1から4を説明

(会長)

ありがとうございました。それでは、ただ今の一連の説明につきまして、御意見がございましたら、皆様方からお伺いできればと思います。忌憚のないご意見を賜ればと思います。いかがでしょうか。

(A委員)

この度ですね、新ホールがやっと動き出したということで、今まで長年迷走して参りましたので、ここは本当に早急にスピード感を持って進めて頂きたいというのが、一番言いたい事です。

それと、先日、徳島の魅力度が46位という発表がありましたが、この新ホールが徳島の魅力度を上げるような、中途半端ではなく本当に素晴らしい文化施設、県民市民の誇りとなるような本当にワクワクするような施設となって頂きたいと思います。

そして、県民市民は本当に、県営でも市営でも良いんですが、とにかく早く作って欲しいと願っております。先ほど知事からもありましたが、鳴門市文化会館が来春から工事に入りますし、1,000人規模のホールのない徳島になってしまいます。やっと進めるのですから、先ほども言いましたように徳島の魅力となるような、全国で、そして世界でも話題となるような徳島にしかないホールを目指して頂きたいです。

例えば、いろんな希望を聞いてきたんですが、最新鋭の徳島にしかないホール。オンラインを活用した世界と繋がるホールであったりですとか、デジタルアートなど最新の照明であったりですとか。それから音響、舞台のデザインなど、他にはないもの、クラシックのみならず、最先端の音楽や舞台に対応できるようなホール。それから、観客席を広く。映画館も最近そちらの方向にあります。プレミアムシートみたいなもので、もし2,000席が1,800席になったとしても良いシート。そして、出来上がった時にそのホールが話題となって、西日本はもちろん全国からも人が集まるようなホールをお願いしたいと思います。

去年、私はウィーンのアペラ座を訪問したんですけれど、屋外に設けられたLEDの大画面でホールの外でも皆さんが文化を楽しむことができるような、そんな野外空間となっています。将来的には徳島中央公園とも繋げて、徳島駅からの導線ですとか、駐車場の整備をはじめ、長期的に中心市街地のグランドデザインができるような、そういう中心となる新ホールになるように、本当に期待しておりますのでよろしくお願いいたします。

(会長)

世界の状況も踏まえ、お話しを頂きました。貴重なご意見どうもありがとうございます。他にいかがでしょうか。

(B委員)

今日は知事と市長さんに、不退転の決意を語って頂いたと思いますし、市民の期待というのも非常に大きいと思います。今、A委員が言われたように、本当に徳島が誇るような劇場を。ただ、予算と面積と時期というのがありますので、でも、今までいろんな検討をされていると思います。その中でやはり今、A委員に言われたところを是非お願いしたいと思います。徳島

ならではの。今までの資料を読みますと、舞台芸術等とはあっても、ある面では分かってるんですね。その中で、何で徳島を特徴づけるか、ひとつは阿波踊りじゃないかなと思います。阿波踊り、ここに来れば最高の舞台で踊れると。そうすると、観光としていろんなグループで来る。もうひとつはですね、映像舞台だけじゃなくて、街のにぎわいづくりを。みなさん1週間とか滞在するかもしれない。そうすると、予算はかけますけど、それは将来的に回収できると思ってます。だから、そういう視点が前の資料を見てもあまりないってことで、やはりそういう風な観点もお願いできればと。そうしますと、花道を作るとか、ランウェイと言いますか、東京ガールズコレクションの徳島版と全く同じです。それとか、阿波踊りでもそういう出入りがあるとか、それから歌舞伎でも使えます。そういう風に徳島の特徴を活かして頂ければと思います。

それから、もう一つの点はですね、管理運営と言いますか、経費の話があまりされていないんですけど、実は建物を建てて必要なのは、後の管理運営費なんですね。それはやはり魅力ある内容、そういったものが来れるような形にされるのが良いと思います。

数年後には、高速が沖浜まで延びます。そうすると、ジャンクションから数キロ、数分で来れるわけで、京阪神からも来られると。京阪神では出来ないけど徳島行けば見れると。ラーメンも後は食べていくとか。そういう風な形で、やはり街のにぎわいづくりをぜひ考えて欲しいと思います。

それから、言われるように「未来志向」と。これは来るのは年配の人ばかりじゃなくて、これからの若い人。我々の大学、他もそうなんですけど、やはり若い人が外に行くんですね。京阪神へわざわざ。そうじゃなくて、ここでそういうのが見れると。割引制度じゃないですけど、予約の人はちゃんと払います。だけど、余っていれば当日は、学生さんとか住民の方は半額や無料で入れるとか、色んな工夫があるのかなと思います。

あとはネーミングライツの話。例えば京都の場合、京都は観光で賑わってて京都市も非常に潤ってるんじゃないかという、そうじゃなくて、あそこも非常に厳しんですね。京都会館が今度改修になりました。費用のうち約50億はですね、ネーミングライツ。ロームという会社があって、50年のネーミングライツで約50億出してくれてるんですね。それもひとつの会社なんですけど、やはり市民が支えるという、そういう風なものも必要だと思います。だから、お孫さんのためとか、市のため、県のために、少しでもそういう風に文化事業に支えてくれるような仕組み。そういった物も必要ではないかなと。したがって、私としては、やはりつくるからには制限はありますが、特徴があるもの、それから管理運営についても、やはり工夫をして頂ければと。

二部制にすると、午後5時から7時半が一部、午後8時から10時、これなら京阪神の人が来れますし、帰れますし、まあ泊まっていこうっていう事になりますので、そういった運用をつくる。

それからピロティとかもですね、これ単なる空間じゃなくて、芸術品、彫刻や絵画の展示であるとか、そういうものと、A委員が言われたように映像関係、こういったものも是非、eスポーツも実は公共の場のここでもできるよという、そういう風な工夫をして頂ければ、単にコストがかかるというイメージじゃなくて、まさに活性化の拠点になると、そういう風な形で進めて頂ければと思います。以上です。

(会長)

ありがとうございます。ともすると、箱物っていう形で考えがちなところですが、そうではなく、ランドマークとして考えると、街全体からその施設を使うことができる、まさに機能。あるいは、天井桟敷なんていうことがね、ヨーロッパでは昔から。そこがヨーロッパと日本の大きな文化の違いなんですけど、実は歌舞伎は同じ制度が導入をされているんですね。しかし、

なかなか地方ではそうした点が解られていない、と言った点がありますので、この運営と言った点、これも大変重要になるかと思えます。ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。

(C委員)

今、コロナ禍のパンデミックの状態になりましたですね、でも、パンデミックは必ず終わる。100年前のスペイン風邪ですか、あれは3年で終わったんです。恐らく今、ワクチンの開発も進んでいますから、1年のうちにこのコロナも終わる。それからの大事なことはですね、14世紀にペストの大流行がありましたけど、その後、ヨーロッパでルネサンスが起こったんです。だからそういう大きなパンデミックの後、世の中がガラッと変わるかもしれない。そういう風な気がしております。

私自身の希望といたしますか、それも含めて考えますと、今、東京一極集中の時代ですけども、是非ですね、パンデミックの終わった後は、世の中の流れが地方の時代になっていくように希望もしますし、そのようになっていかなければならないだろうと思っております。

その時に、この新ホール、それから青少年センターが移りますけれども、新しい機能を持つてですね、若い人たちが徳島に残って楽しみたいと、あるいは県外の人を迎えるとかっていう風な、一つの大きな活性化の新ホールと青少年センターになる可能性が非常に高いと思っております。だから、徳島の魅力アップのために、一丸となって協力してやっていきたいというような覚悟でおりますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

(会長)

ありがとうございます。既に、全国知事会でも6月の4日、新次元の分散型国土の形成、これをまさにコロナ禍の反転攻勢に持って行く大きな流れにしようと、これについては既に、「まち・ひと・しごと創生本部」の方でも国自身がそういう方向に持って行こうとなったところがあります。今まさにそうした方向、これを具現化をしようとお話を頂きました。ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。せっかくの機会でありますので、どうぞよろしくお願ひを致します。

(D委員)

いくつかあるんですけども、まず一点目がこの検討会議を進めるにあたって、できましたら資料を事前に頂けると有り難いなという風に思えます。もし可能であればでの話で結構なんですけれども。

あと、今のアスティの稼働率と、アスティで出来る事と出来ない事を考える中で、新しいホールの方向性も色々検討を。やっぱり同じ事だけやってもしょうがないと思うので、そこを今後検討する上では必要な情報なのかなと思えます。

新ホールの声が高まるところで言うと、これも声が高まっているところのエビデンスは何なのかというところをしっかりと県民市民の方に示す必要があるのかなと思えますので、それが何なのか、どういった調査を行った上でというところ、今後、県民の方々の理解を貰う上では、そういったエビデンスの説明もしっかりやっていく必要があるのかなと思えます。

あと、今このホールを、これまでの流れはおそらく、有名なアーティストが来てくれる大きなホールをつくる。また、県民市民の皆様が交流することによって、文化的な活動が広く展開できるというところが、恐らく、このホールの中の考え、これまでの計画はそうだったと。先程、各委員さんが仰ったようなランドマークにしながらというところを考える中で、やっぱりこの箱、先程知事さんも仰っていたんですが、箱だけではなくて、この施設の魅力だけで県外から人が集まるってというようなものをつくる必要があるのかなと思えます。

ここまでは同じような意見なんですけど、これから二つお話しさせて頂くことは、例えば全体の予算とか、実際の土地の関係とか、私が全て100%把握してない状況の前提でお話しさせて頂くと、この地図を見た時に旧文化センター跡地と青少年センターがくっついてて、例えばなんですけど、そんなにお金がかからないのであれば、この裁判所の前の土地って、一応、半一方通行みたいな感じですかね。車で言うと、東署の方から走って南に行く道は、徳島本町から左に左折すれば走れる状況だと思うんですけど、車が走る上ではちょっと行きにくいという場所だと思うんです。例えばなんですけど、お金がどれくらいかかるかとか一回ちょっと除けた上で、この建物建てる上で線路を跨いだりとかできないかなという。例えば、もっと言うと市役所と繋げられないですかね、とか。本当に極端な話かも知れないですけど。例えば市役所って、駐車場とか混んでる時はかなり混んでて、なかなか待ってる時間も長いとかいう課題もあったりするので、そういった全体的なフィールドの課題解消ができるようなランドデザインというものもご一考頂いたら、もしかしたら、その周りの課題を解決できるきっかけにも出来るのかと思います。そこに莫大なお金がかかると要検討になると思うんですけど。

これも数日前に思いついただけなんですけど、このホール整備の計画検討にあたって、例えば、四国新幹線の機運が高まるきっかけに出来ないかと考えたりしましたが、今後、四国新幹線もどういう風になるのかっていう事は、私も分からないことは沢山あるんですけども。例えば都会の方だったら、駅とホールがくっついてたりとか、そういうのもあるので、ちょっと面積的に難しいかもしれないですけど、そういう様なものが後々徳島駅と繋がっていけばというお話がある中で、そういう所も複合的に考えていけたら、本当にランドマークに近づいていくのではないかと思います。以上です。

(会長)

どうもありがとうございました。今、D委員から言われた点については、決して不可能な点ではなくて、もう既に全国ではなされている。現に私は埼玉の財政課長の時に、スーパーアリーナ新都心駅、或いはその合同庁舎。これを一体化で整備する。こうした事も決して不可能ではないわけですが。一番重要となってくるのは、先程から出ている「急ぐ」という事ですね。つまりお金の面も確かにあるんですけど、様々な規制、これをどうするかという事で、今、河野大臣が日本全体の規制を考えています。あるいは高速道路、これを支柱として、例えばビルを使うとか、鉄道とは逆に建物という、国際ターミナル、羽田空港、あれはまさに建物の中に駅があるんですよ。ということで、実は様々なやり方というものはあるわけですが、時間軸、規制、そして仰るように予算。当然そうしたものも考えるわけではありますが、しかし、D委員に仰って頂いたように様々な可能性といったもの、なんといっても30年間動かなかったものを動かす訳でありますので、しっかりとそうした点も咀嚼させて頂ければと思います。どうもありがとうございました。

(E委員)

市のホール計画でも計画作りの委員会のお手伝いをさせて頂きました。あれから10年以上経ち、徳島のホールが早くできないかと見ておりました。

今回、県市協調でようやく実現に向けて動き出したということで大変楽しみにしておりますし、今回この委員会の一人としてで、お手伝いさせて頂く機会を頂戴したことは大変光栄に、或いは感謝を致しております。

ホールの中身をどうするかというのは、部会でも検討意見が出るとは思いますが、私が注目しているのは、今回、県市協調でつくるということでございます。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、秋田では既に県市協調の話が進んでおりまして、今日の資料にもありましたように、秋田は公立のホール整備が遅れていた所なんですけれども、それが進んでいるんですね。

それで国の方も公共施設については、総合管理計画とかストック適正化とかですね、要するに効率的に色々なものを進めなさい、という方針が出ております。ですので、県市協調で新しいホールを造るというのは、全国的に見てもかなりチャレンジングな事例ですし、県市協調になって色々な経緯があると思いますが、今回、この動きの中で素晴らしいホールを実現して頂いて、全国の先駆的な事例として見本になるような整備、或いは運営を含めて、そういうものが出来れば良いなと思っております。

飯泉知事は全国知事会の会長をされておりますので、是非これを実現させて、徳島のやり方をみなさんに見習わせたいと言えるぐらいのものが出来たら良いなと思っております。私自身、仕事の関係で全国のホールの情報とか、国の情報とかもありますので、そうしたネットワークも含めて、この会議以外でも事務局に情報提供等させて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(会長)

どうもありがとうございました。是非様々な日本の事例といったもの、こうしたものも活かして頂ければと思います。

時間の関係で、次に進めさせて頂きます。先程、D委員から言われた点も、次の説明の中に入れて参ります。それでは、当面の対応について事務局からお願い致します。

(事務局)

当面の対応の説明を致したいと思っております。資料はございませんが、まずは委員からありました、県民の意見というところで、1点目、「県民アンケートの実施」を致したいと考えております。

徳島市でこれまでお聞きになられた住民の意見等はあるんですが、更に幅広く県下全域から今回の新ホール整備に対するご意見、また青少年センターの機能移転に関する意見というところをお聞きする為に、今回も県民アンケートを実施したいと考えております。アンケートの解答用紙を県ホームページに掲載したり、関連施設にご用意して、準備が整い次第、今月中にでも開始したいと考えております。

2点目は、「埋蔵文化財の調査」についてでございます。文化財保護法により道路工事や施設整備等の開発事業を行う場合には、必要に応じて埋蔵文化財の発掘調査を実施することとなっておりますが、まずは、旧文化センター跡地におきまして、事前調査となります「試掘調査」を行いたいと考えております。調整次第、早急に始めたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。以上です。

(会長)

ということで、県民のアンケート調査をこれからさせて頂きます。それでは、ただ今の説明につきまして、御質問ございましたら承りたいと存じます。

いかがでしょうか。(質問なし)はい、ありがとうございます。

それでは、今日頂きました大変貴重なご意見、スタートアップとして大変有り難いご提案をたくさん頂いたところであります。本来でしたら、各委員さん全てからご意見を賜りたい、こうした点もあった訳であります。時間の制約で失礼を致したところであります。

これからは各部会において、部会長さん、副部会長さん、それぞれの委員の皆様方、どうぞよろしくお願いを申し上げます。